

今治市こども計画「若者意見の聴取」

I 実施概要

■日時・会場

令和6年9月13日（金）10時30分～12時00分
今治市役所本庁第1別館10階101会議室

■対象者について

- ・今治市外・市内在住の18～22歳（大学生）
- ・参加人数 8名

■事業主催者と参加者

今治市役所 こども未来部 こども未来政策局 ネウボラ政策課 担当：本宮、小島
委託先事業者 リージョナルデザイン株式会社

2 ワークショップの進行について

（1）タイムテーブル

開会・挨拶		3分
自己紹介		10分
ワークショップ ワールドカフェ式	セッション1	20分
	セッション2	20分
	まとめ	20分
各テーブルでまとめ発表		15分
閉会		

（2）ワークショップのテーマ

○テーマ①「若者の悩み・居場所について」

- ・悩みや相談相手
- ・若者の居場所
- ・あなたが思い描く「希望をもてるまち」のイメージ

○テーマ②「結婚観・子育てについて」

- ・あなた自身や社会全体の結婚観
- ・子育てに対する考え

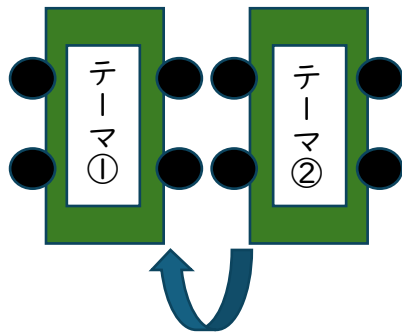
(2) 進行内容

①ワールドカフェスタイルでの進行

会場には、テーマごとにテーブルを用意しました。

参加者は2つのテーマに参加するため、両方のテーブルに座ります。

■ワールドカフェスタイルのイメージ



20分程度でテーブルを移動し、2つのテーマについて話し合います。

意見を出しやすい(カフェでの雑談のように)環境でワークショップを進めました。

■ワークシートについて

ワークシート	
事前に用意した「個」を左側に書き出しながら話し合い、「公」の意見(＝社会の意見)に書き換えて、右側にまとめてください。	
テーマ①「若者の悩み・居場所について」 キーワード：現在抱えている悩み、悩める若者、居場所と格闘する場所、希望をもてるまちの在り方	
悩みや相談相手を書き出してみてください	
個人の意見	社会の意見
若者の居場所について、「地域の中で」をキーワードに考えてみてください。	
あなたが思い描く「希望をもてるまち」のイメージを教えてください。	

ワークシート

左側にテーマに沿って「個」の意見を出します。

「個」の意見が集まり、集約化していきます。

右側には、集約された意見を「社会の意見」へ置き換え、まとめます。

②セッション1～2

「個」の意見を出す。

参加者は、テーマごとに「個」の意見を出します。ワークシートの左側に、付箋紙に意見を記載し、模造紙に貼っていきます。次に、付せん書いた内容を意見交換し、意見をグルーピングしていきます。

参加者全員2つのテーマに参加し、意見を出します。



「個」の意見の集約 → 「社会の意見」にまとめる。

ワークシート

事前に用意した「個」を左側に書き出しながらか話し、「公」の意見（＝社会の意見）に置き換えて、右側にもってください。

テーマ② 「結婚観・子育てについて」 キーワード：結婚観、子育て、就労、居住

■あなた自身や社会全体の結婚観や子育てに対する考え方について、皆さんの「個」の意見を出し合ってください。

個

公

出会い

- ・若者が減少しているから.
- ・コロナの影響?

結婚

- ・SNSの影響で結婚の実況に触れる機会が増えた。→ニュースで良いイメージをアピル
- ・様々な環境の変化で、忙しくなった。

子育て

- ・子育てをサポートする施設や制度が必要。
- ・大学進学が当たり前になってきた
→必要な学費が増大

3

④意見の全体共有（各テーブルでまとめ発表）

テーブル・テーマごとにポスターセッション形式で意見発表をし、多様な意見の共有を図ります。



3 結果のまとめ

※「赤字」は個の意見で付箋紙に記載した言葉、「黒字」は話し合で出た意見。

○テーマ①「若者の悩み・居場所について」

・悩みや相談相手

- ・悩み「進級」「就職先」「バス・電車が少ない」「電車代が高い」「遊ぶ場所が少ない」
→（将来の不安）将来の事を想像すると、悩みは進級・就職が思い当たる。
→（生活の不便）大都市と比べると人口が少ない（今治）はバス・電車が少ない。遊ぶ場が少ない。人口が多いと何でもそう。
- ・相談相手「家族」「友達」
→身近な存在の家族、友人に相談する。

・若者の居場所

- ・地域の中での居場所「部活」「サークル」「涼しくてアクティブに遊べる場所」「オンラインの趣味のコミュニティがある」「いざかや」「スターバックス」「カラオケ」「ご飯屋さん」「家から近い所に遊ぶ場所がある」「スタジアム」
→（趣味の場）これらはみんなで盛り上げられる場。一人で楽しむのではなく、出会い、交流がある場。オンラインゲームでは、不特定の人とは遊ばない。オンラインには趣味の場がある、そこでは出会いもある。
- ・地域の中での居場所「スターバックス」「大きい公園」「友達の家」
→（気軽に行ける場）気軽に行ける場は、一人でまったりなイメージ。スターバックスは、一人でも気軽に行ける。大きい公園、みんな行く？
- ・「長居できる」「優しい人が多い」
→趣味の場、気軽に行ける場は、長居できる場。趣味の場、気軽に行ける場、それぞれに新入り（新しくその場に入ってくる人）に優しい人が多くいる。優しい人がいるとその場に行きやすくなる。

・あなたが思い描く「希望をもてるまち」のイメージ

- ・「お店がたくさんある」「有名な店がある」「遊べる場所がたくさんある」
→都会のイメージ。
- ・「交通機関が多い」「給料が良い」「若い人も活躍している」「行政と市民の活気」「イベントがたくさんある」「地元企業が活躍している」「子どもがたくさんいる町」

→若い人も活躍しているについては、活躍しているところが見えること。例として、スタジアムでFC 今治の選手の活躍が見れるとか。地元企業が頑張っていることが希望。交通機関が多いは大都市のイメージ。

・まとめ

（悩みや相談相手）

- ・相談相手は、身近な「家族」「友達」に相談することが多い。
- ・相談内容は、「将来の不安」進級・就職に関すること。

（若者の居場所）

- ・居場所は「部活」「サークル」「涼しくてアクティブに遊べる場所」「オンラインの趣味のコミュニティがある」「いざかや」「スターバックス」「カラオケ」「ご飯屋さん」「家から近い所に遊ぶ場所がある」「スタジアム」等の意見が出て、「趣味の場」として、みんなで盛り上げられる場。
- ・「スターバックス」「大きい公園」「友達の家」は、「気軽に行ける場」で、一人でまったりできる。
- ・趣味の場、気軽に行ける場は、長居できる場。優しい人がいるとその場に行きやすくなる。

（希望の持てるまち）

- ・若い人が活躍している、活気があること。地元企業が頑張っていることが希望。

○テーマ②「結婚観・子育てについて」

・あなた自身や社会全体の結婚観

- ・「奨学金が結婚の邪魔になる」
→今は誰でも大学に行く。奨学金の返済が負担。
- ・「結婚をそもそもすべきかどうか」
→※全員結婚することを肯定的に捉えていた。その中での意見。
- ・「30代前後くらいまでには結婚したい」「20代では結婚したい」
→※30代前後くらいまでには結婚したいは、男性の結婚観のイメージ、20代では結婚したいは、女性の結婚観のイメージ。
- ・「人間関係が難しそう」
→※男性の意見。
- ・「家がにぎやかになる」「幸せを感じる事が多くなる」
→※家がにぎやかになるは、男性の意見、幸せを感じる事が多くなるは、女性の意見。
- ・「出会えたとしても価値観が合う人がいないと結婚できない」「田舎の方は出会いがない」「出会いの場はどこにあるのか」
→結婚を考える前に出会いがないと結婚はできない。マッチングアプリでの出会いの意見も出た。

・子育てに対する考え

- ・「子育てにお金がかかりそう」「子どもの数が増えとしんどそう」「大学4年間の費用が大きい」「家や車にお金がかかる」「日用品、病院代等必要になるお金が多そう」「子育てするには今の状況でかなり厳しいと思う」
→大学進学が当たり前になってきた。※お金がかかる意見は多く話が出ていた。
- ・「Uターンでお金の援助が出て欲しい」
→県外に進学後、地元に戻る際に援助があるといい。
- ・「子どもがいないという人も増えていると思う」
- ・「育休を取りやすい職場がいい」「子どもを預けやすい場所があったら助かる」「子育てのとき、親以外に助けてくれる人がいるのか」「支援が充実していたらいいな」

・まとめ

(出会い)

- ・若者が減少しているから出会いがない
- ・コロナの影響？

(結婚)

- ・ SNS の影響で、結婚の実況に触れる機会が増えた。ニュースで良いイメージをアピールするといいい。
- ・ 様々な環境の変化で、忙しくなった。

(子育て)

- ・ 子育てをサポートする施設や制度が必要。
- ・ 大学進学が当たり前になってきた。必要な学費が増大。

4 ヒアリング結果からみた課題の整理

（悩みと相談先）

- ・大学生の意見では、進級と就職。特に就職は当たり前である意見がでており、近い将来の自分が進む先の事の悩みが挙げられた。相談先は、身近な家族と友達の意見が出た。
- ・悩みには、交通機関の利便性が良いと感じていないようで、まちの不便さが挙げられていた。

（若者の居場所）

- ・趣味の場は、知らない人でも交流することができ、みんなで盛り上げられる場との意見が出た。
- ・一方、スターバックスを例に、一人で楽しむ、一人で憩いのできる場があるといい意見が出た。
- ・オンラインでの出会いや交流については、不特定の人とは遊ばない意見が出ており、ネット利用のトラブルを意識している意見が出た。
- ・地域内にある若者が集まる場には、同調圧力を感じさせないよう、例として優しい人がいることといった意見が出た。若者が集まる居場所には公共性の観点で一定のルールが求められている。また、居場所に求められることに、もうひとつのキーワードは「長居できる」であった。

（希望の持てるまち）

- ・若い人の活躍が見えるまち、子どもが多いこと、行政と市民の活気、地元企業が頑張っていることが希望の持てるまちになる意見が挙げられた。

（結婚・子育て）

- ・若い世代も出会いがないと感じている。
- ・大学生世代に、自治体が実施している子育て支援が伝わっていなかった。子育てには経済的負担がかかる意見が多く、中でも大学進学が当たり前になり学費の負担や子どもが増えるとしんどい印象を持っている。子育ての支援内容や制度を広報していくこと、若い世代に結婚・子育てに希望が持てる啓発活動の継続が必要といえる。
- ・大学進学が当たり前になっていることで、進学意欲がある人には奨学金等支援が必要であり、奨学金の返済が結婚の妨げになることや子育ての負担を軽減させる支援も必要といえる。
- ・SNSで結婚・子育てなどにいい印象をアピールの意見があり、若い世代には、SNSの利用機会が多いことから、市の公式SNSの登録者を増やすことや子育て支援等、市の取組を継続して発信していくことが必要といえる。
- ・参加者は結婚・子育ては肯定的に捉えていたが、「結婚をそもそもすべきかどうか」不安を感じる意見、「子どもがいらないという人も増えていると思う」という風潮の意見が出た。